第２号様式（公開）

都市整備局
地域まちづくり課
20.12.09
受付

ヨコハマ市民まち普請事業

第２次整備提案書

※　記入上の注意

●２号様式はページを増やさず、必ず３ページ以内でまとめてください。

●２号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

１　整備提案の概要について

整備提案名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化
提案グループ名	よこはま里山研究所　川井緑地森づくりプロジェクト
整備場所の所在地 （町名又は丁目まで記入）	旭　区　　下川井町
整備したい施設の概要	川井緑地特別保全地区に隣接した神奈川県立旭高校の外周道路において、道路を地域の和を広げるコミュニティ空間とするために、 ・緑地内の鋼板塀を外し、開放的な木柵やメッシュフェンスに変える ・道路両側にツツジやアジサイなどの花木を植える ・道路の両端に可動式の車止めと案内図を設ける ・道路内に間伐材を使用した休憩用のテーブルやベンチを設ける ・緑地内にテーブルやベンチの補修や追加を行うための作業拠点を設ける
整備助成金申請予定額	４９９．５万円
設計及び整備のスケジュール	平成21年3月～4月：詳細設計図作成と見積もりの取得 同年5月：施工業者を選定して契約書を取り交わす 同年6月から10月：業者施工 同年10月以降：地域等と協働して、花木の植付けおよびテーブルやベンチ、案内板の製作と設置

２　創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 （住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮）	・旭高校の文化祭で提案内容を展示して、地域住民の意見を直接聞いた。 ・森の東側でアジサイの植付けイベントを開催し、住民等による植付けの実現性を確認した。 ・木柵は、取替え経費と耐久性とを考慮して、スギ丸太と再生木材を併用したものに変更した。

整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。 ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第３号様式）」に記入してください。	･花木の植付けは、協力者である旭高校や地域住民･小中学生の参加を得て、植付けイベントを開催する。 ･テーブルやベンチ、案内板は、旭高校生の協力を得ながら提案メンバーが製作して設置する。
整備した施設の維持管理・運営注５）計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。 注５）施設を活用したまちづくりイベント等を含む。	・花木の維持管理に関しては、地域住民や旭高校生が参加する植え付けイベントを開催することで、植栽後の水遣りや雑草の除却などは愛着を持って継続的に行ってもらえる。 ・植付けへの参加が得られることを確認するために、提案対象地外で植付けイベントを開催し、実現性を確認した ・ベンチなどの休養施設の追加や維持補修を行うための拠点を整備することで、将来にわたる継続性が担保できる。

3　実現性について

地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。	土地を所有している個人や横浜市の関係部署および関係法令所管課との調整は円滑に進み、提案内容の実現に問題のないことが確認できた。また、隣接する旭高校や町内会、近隣住民の方々への合意形成も完了している。さらに、11月22日には、提案地隣接の川井緑地外周部において、地域住民および小中学生･高校生も参加したアジサイの苗200株を植えるイベントも開催した。このように地域との具体的な連携も進んでおり、実現性には問題ありません。

4　公共性について

地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。 ※ 第１次整備提案書よりも具体的に記入してください。	緑地内の樹木整理が進み、良好な景観に変貌しつつあるが、隣接する旭高校の外周道路は、人通りが少なく、不法投棄の原因ともなっていた。その貴重な空間を活用するために、抜き差し敷きの車止めの設置により車の通行を制限し、森の中の見通しを確保するとともに花の咲く低木を植え、さらに休憩できるベンチやテーブルを配置することで、地域住民や旭高校生にとって、安心してくつろげる場所となり、これまでにない地域の和が生み出される空間に変えることができる。

5　費用対効果について

整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。 （材料の調達方法や施行業者への発注方法など） ※　整備に要する費用や労力の負担については、「2　創意工夫について」に記入してください。	・休養施設や案内施設、作業デッキ、倉庫に使用する木材は、川井緑地から発生する間伐材を活用する。 ・木柵は、交換できる部分に丸太を使用することで、コストを縮減した。 ・提案グループや協力者が植栽の植付けやベンチ等の製作を行うこととした。

6　地域まちづくりへの発展性について

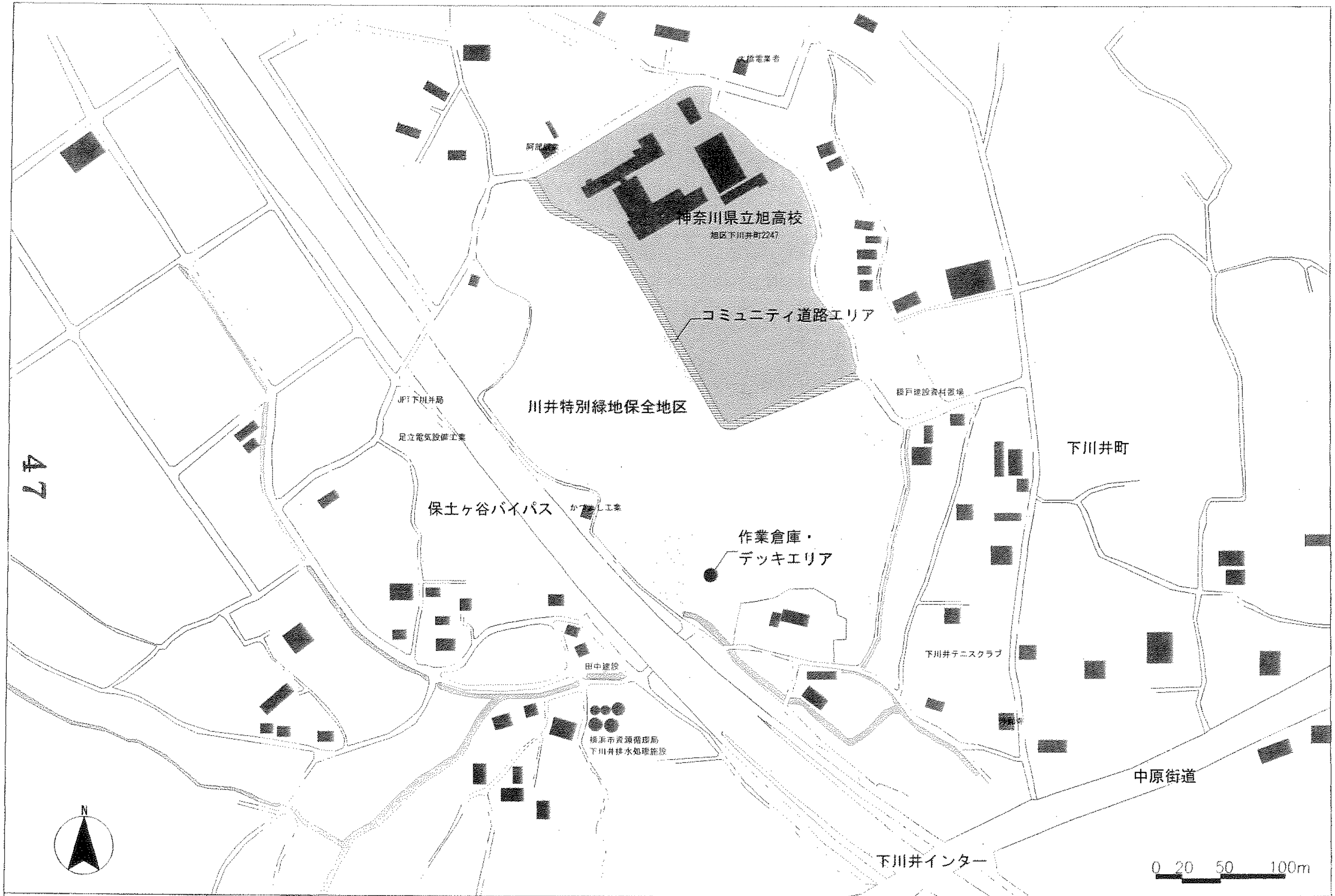
整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。	・これまで住民に利用されていなかった道路が快適な空間に生まれ変わることにより、地域の新たな和が醸成される。 ・隣接する川井緑地が地域の環境資源として強く意識されることにより、森の管理に住民の参加が期待できる。 ・旭高校の地域貢献がこれまで以上に強化され、範囲や内容が拡大する。

7　特にＰＲしたい点について

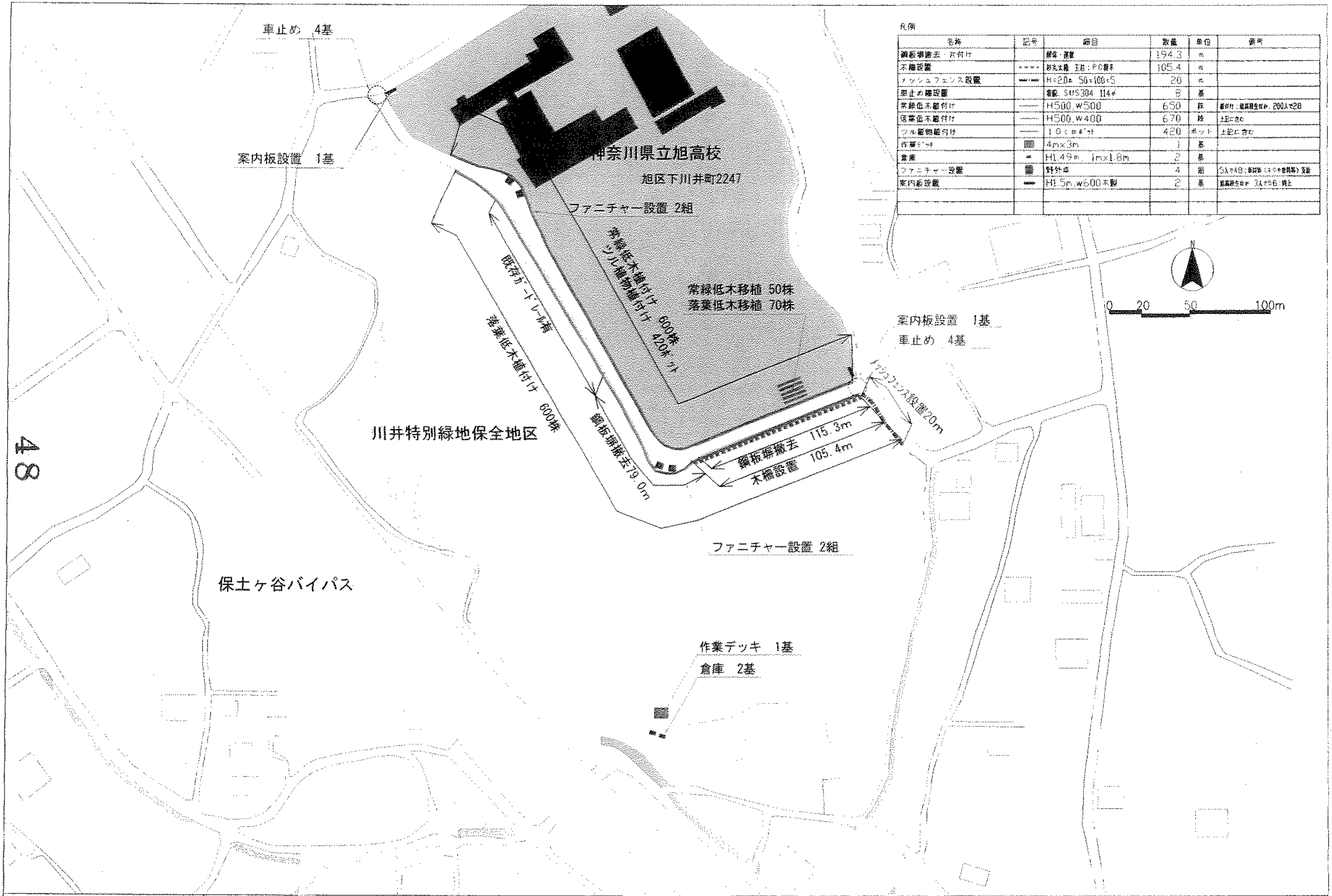
提案について特にＰＲしたい点があれば、記入してください。	・まち普請提案に伴う施設整備や川井緑地の森づくりに、地域住民や旭高校生が多数参加することにより、地域と連携した活動が活性化し、他の事業にも協働作業が拡大することが期待できる。このことは、今回の事業を周知するために実施した様々な取組みを行う過程で強く実感した。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✔を入れてください。

- [x] 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- [x] 記載内容に個人情報は含まれていません。



事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	位置図	縮尺	1/2500	図番	1/6



凡例

名称	記号	細目	数量	単位	備考
鋼板塀撤去・片付け		解体・運搬	194.3	m	
木柵設置		擬木木柵 支柱：PC擬木	105.4	m	
メッシュフェンス設置		H=2.0m 50×100×5	20	m	
車止め柵設置		着脱、SUS304 114φ	8	基	
常緑低木植付け		H500,W500	650	株	植付け：地域住民ほか、200人で2日
落葉低木植付け		H500,W400	670	株	上記に含む
ツル植物植付け		10cmポット	420	ポット	上記に含む
作業デッキ		4m×3m	1	基	
倉庫		H1.49m、1m×1.8m	2	基	
ファニチャー設置		野外卓	4	組	5人で4日；既製品（ネジや金具等）支給
案内板設置		H1.5m,w600木製	2	基	地域住民ほか 3人で5日：緑上

事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	平面図	縮尺	1/2000	図番	2/6

第３号様式（公開）

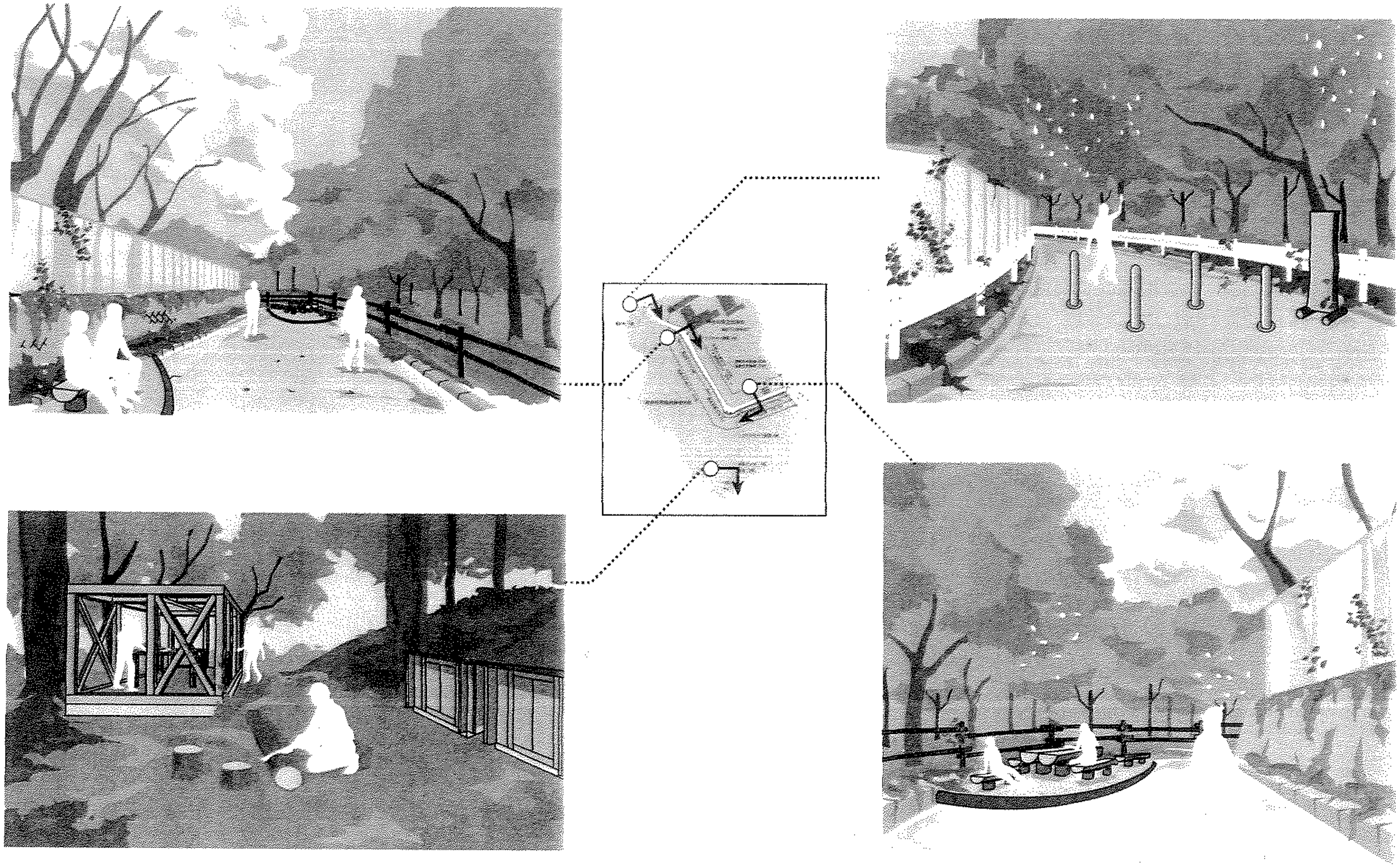
ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※　記入上の注意

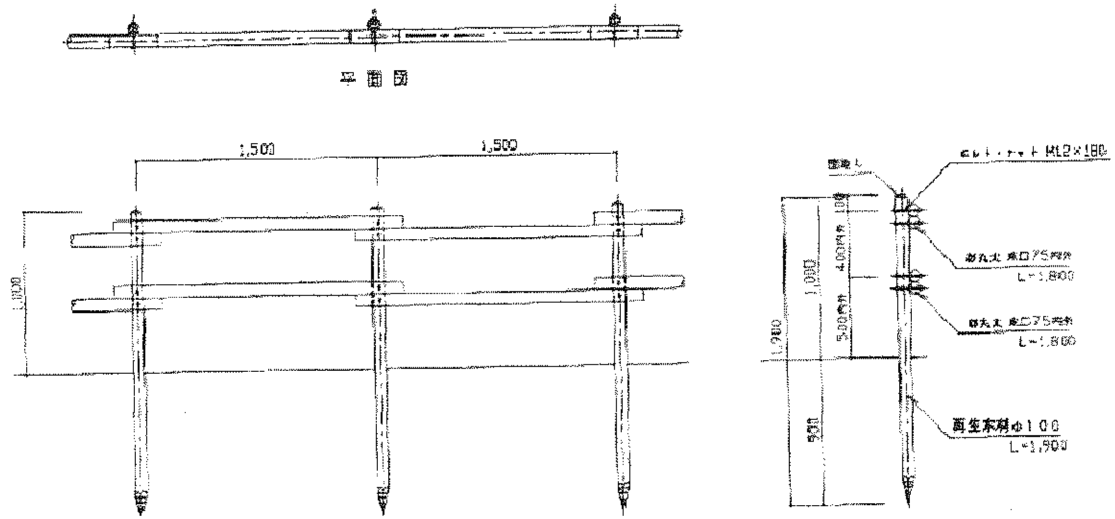
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細　目	数　量	単　価	計	地域住民等の参加（費用又は労力の負担等）
鋼板塀撤去	解体･運搬	194.3m	2,500	485,750	
木柵設置	杉丸太柵 主柱;再生木材	105.4m	10,660	1,123,564	
メッシュフェンス設置	H=2.0m 50×100×５	20.0m	25,700	514,000	
製材加工	スギ丸太 φ200×4200	50本	7,000	350,000	
車止め柵設置	一本立型 SUS304	８基	51,500	412,000	
常緑低木植付	ヒラドツツジ クチナシなど	650株	570	370,500	100人で2日 地域住民・小中学生、旭高校生など
落葉低木植付	ユキナヤギ アジサイなど	670株	660	442,200	
ツル植物植付け	コトネアスター ３芽立ち	420ポット	470	197,400	
作業デッキ	4.0×3.0m	１基	310,000	310,000	
倉庫	1.8×1.0×1.2～0.98	２基	133,000	266,000	
ファニチャー設置	ベンチ、野外卓など	４組	5,000	20,000	５人で４日；原材料購入費
案内板設置		２基	8,000	16,000	３人で５日旭高校生；同上
設計・施工監理委託		一式		250,000	
消費税		一式		237,833	
合　計				4,995,247	



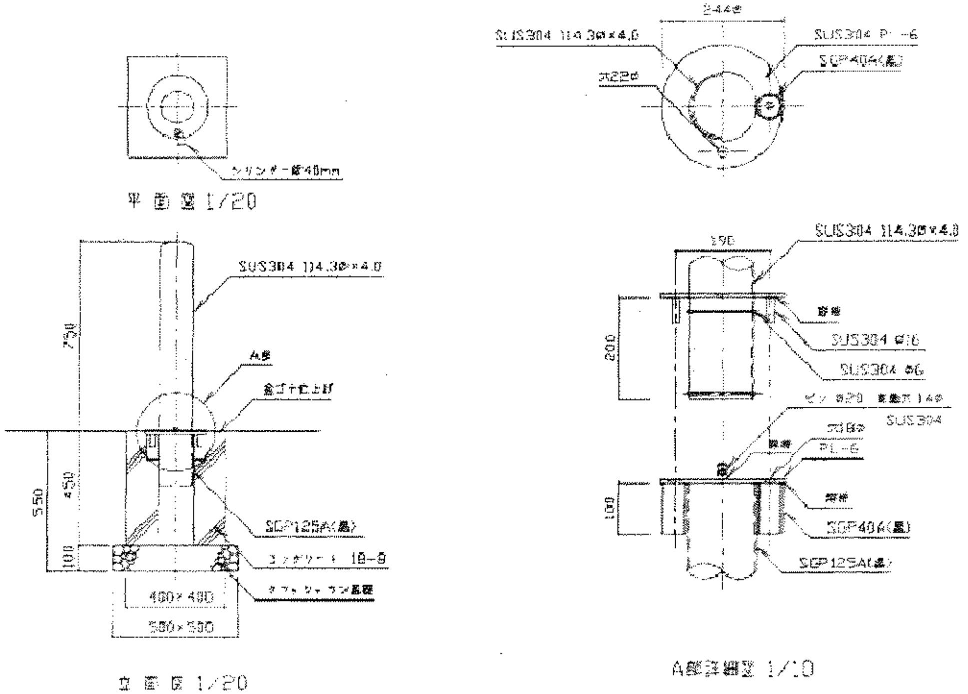
	事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	完成予想図				

木柵

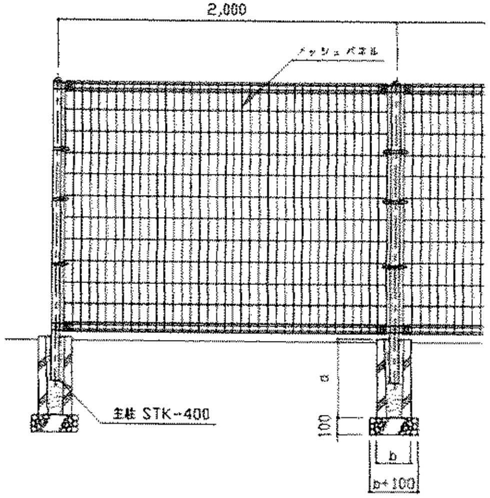


車止め

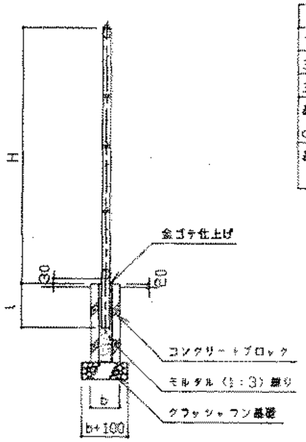
50



	事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	木柵、車止め詳細図（参考図）	縮尺	図示	図番	3/6



正面図 1/30

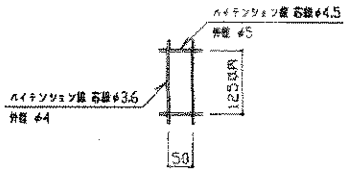


断面図 1/30

寸法表 (mm)

	ME-120S	ME-150S	ME-180S	ME-200S
フェンス高（H）	1,200	1,500	1,800	2,000
主柱の根入れ（l）	200	250	300	300
主柱の断面	50.8φ×1.6	50.8φ×2.3	50.8φ×2.3	50.8φ×2.3
基礎ブロック（b×a）	200×450	200×450	200×450	250×450
基礎ブロックの中穴（上部×下部）	100~120×80~90	100~120×80~90	100~120×80~90	130~150×100~110

メッシュパネル断面図 1/10

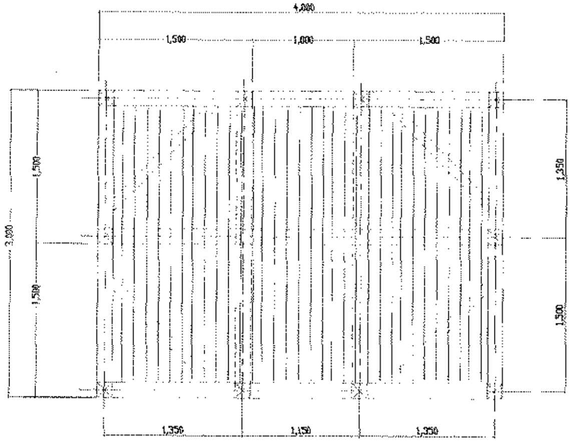


メッシュ詳細図 1/10

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。
- 主柱頭部の形状、メッシュパネルの取付方法、中間胴縁の有無とその形状は製造メーカーの仕様による。
- 胴縁はメッシュパネルを円形に加工したものとし、横方向の鉄線が円の外側につく形でもよい。
- 主柱及びメッシュパネルは、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装とする。
- 取付金具は、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装または焼付塗装とする。
- ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきとする。
- 塗装色はホワイト・グリーン・ダークブラウンとし、別に指定する。
- 傾斜地に設置する場合は、傾斜にあわせたメッシュを製作する。なお、本図の基礎寸法は傾斜角5°以下に適用する。

事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	メッシュフェンス詳細図（参考図）	縮尺	1/30	図番	4/6

作業デッキ

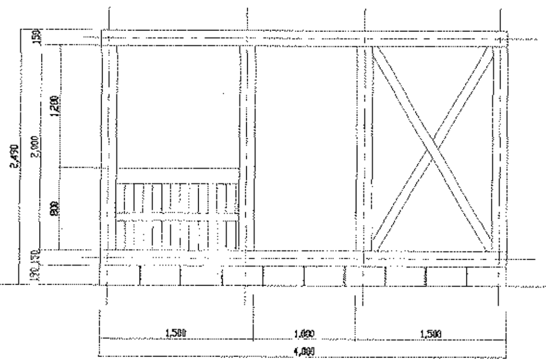


平面図

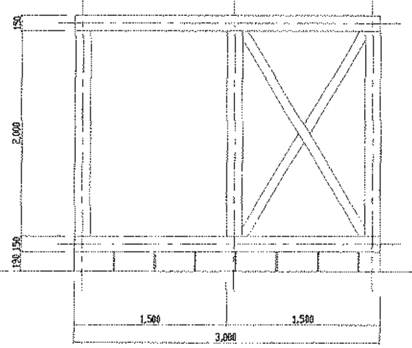
作業デッキ

□150×4000 本(大引き3本)
□150×3000 4本
□150×2150 8本
□150×1500 本(火打ち梁4本)
□90×15 本(筋かい)
床 □30×300 16.8㎡ 他

基礎、束石とも軽量コンクリートブロック
190×190×390(A種)

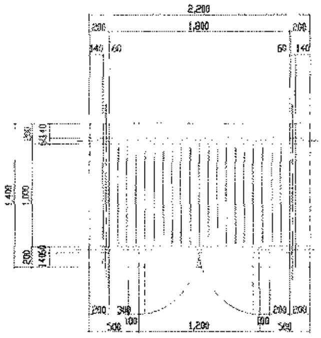


正面図



側面図

倉庫

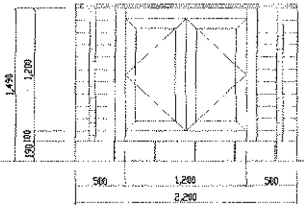


平面図

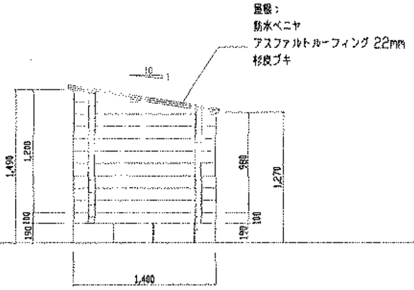
倉庫

壁 耐候材 □60×120
L=2200 11本
L=1400 22本
L=500 24本
床 L=1000 □40 1.8㎡ 他

基礎、束石とも軽量コンクリートブロック
190×190×390(A種)



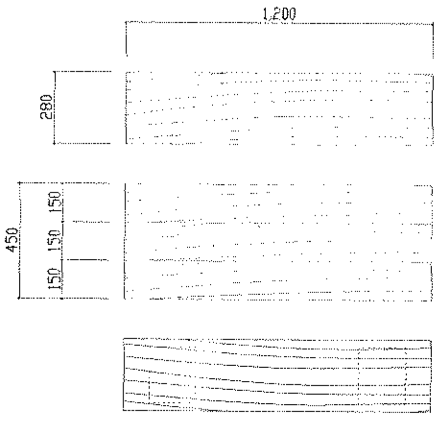
正面図



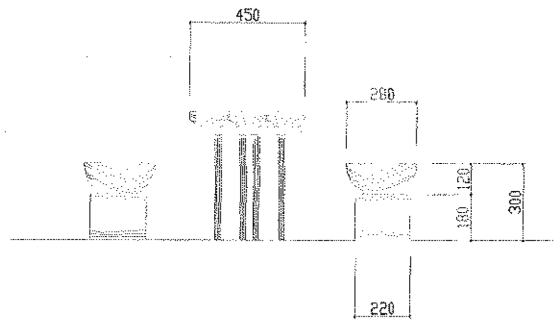
側面図

事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	作業デッキ・倉庫詳細図（参考図）	縮尺	1/50	図番	5/6

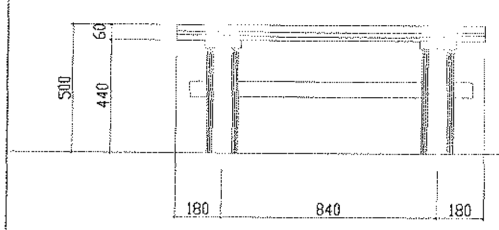
野外卓



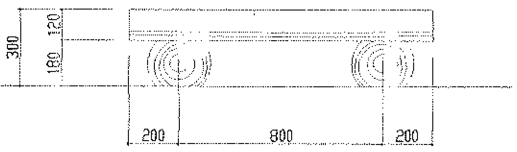
平面図



側面図

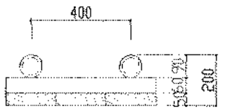


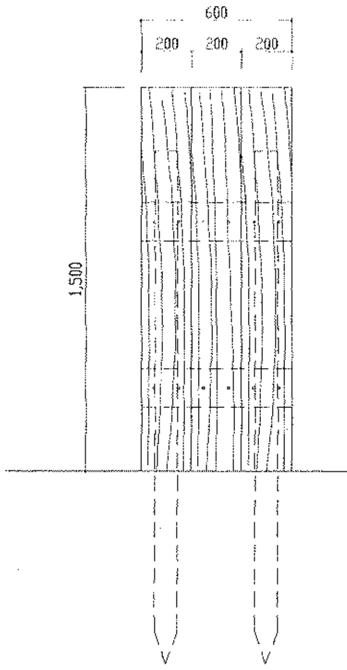
テーブル正面図



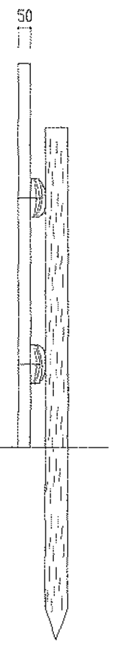
ベンチ正面図

案内板





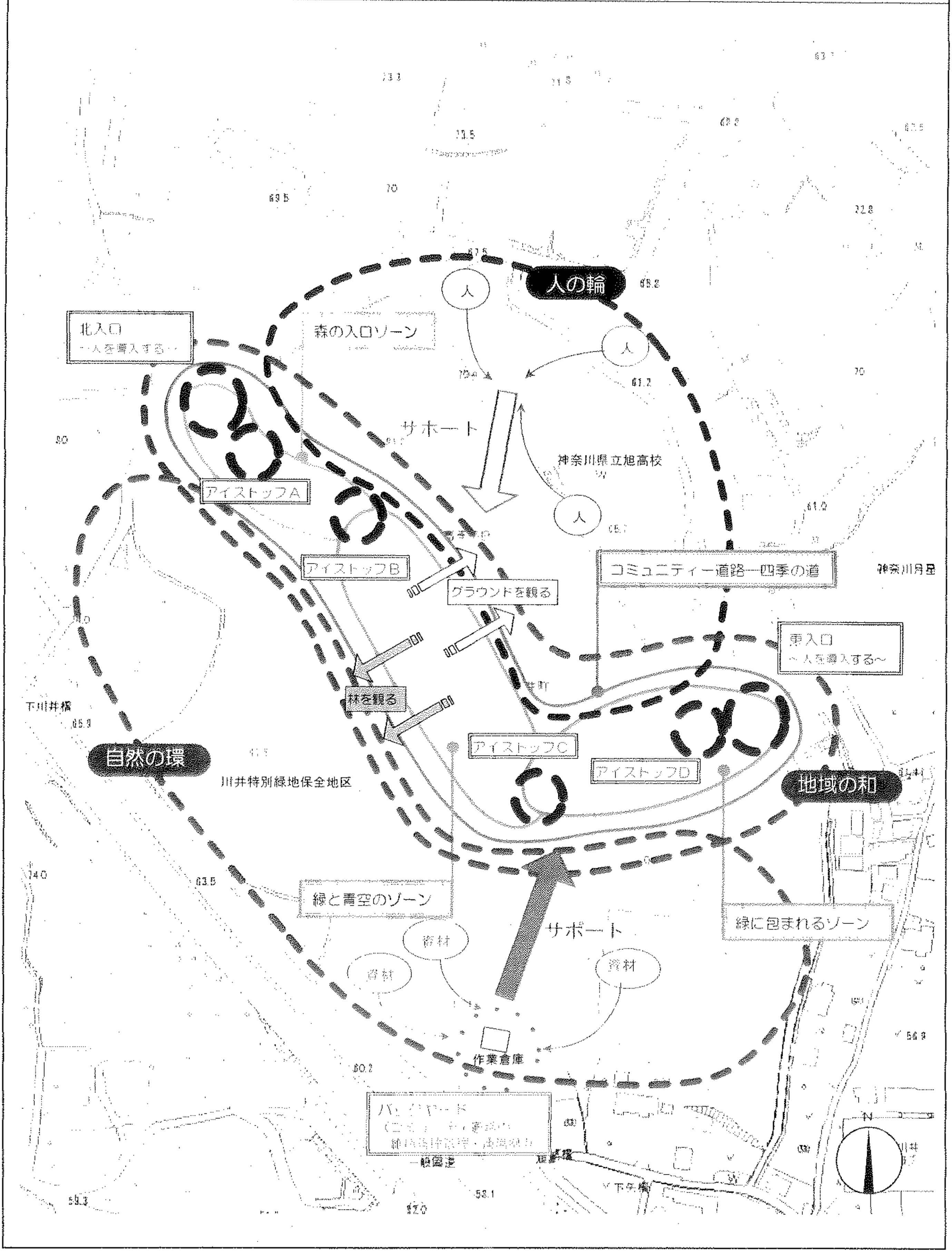
正面図



断面図

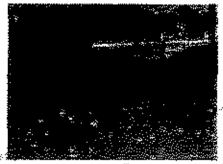
	事業名	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	図面名	野外卓・案内板（参考図）	縮尺	1／20	図番	6／6

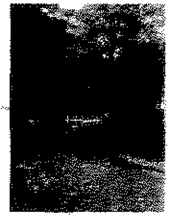
空間機能図


人の輪
人
人
人
北入口
～人を導入する～
森の入口ゾーン
サポート
神奈川県立旭高校
アイストップA
アイストップB
グラウンドを観る
林を観る
コミュニティー道路―四季の道
東入口
～人を導入する～
アイストップC
アイストップD
自然の環
地域の和
川井特別緑地保全地区
下川井橋
緑と青空のゾーン
緑に包まれるゾーン
サポート
資材
資材
資材
作業倉庫
バックヤード
N

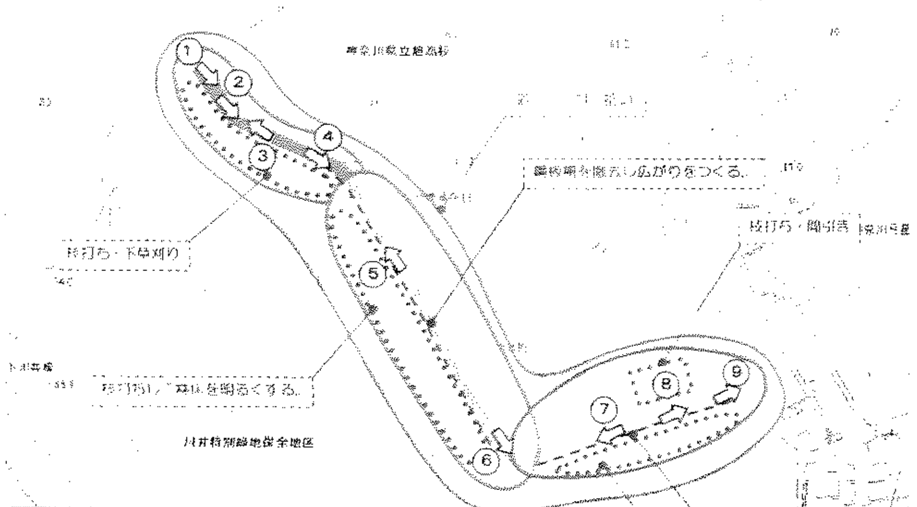
第1ステージ　～場所の魅力を掘り起こす～

写真－1

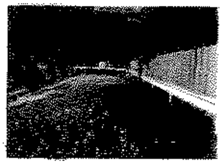

写真－2


写真－3

写真－4



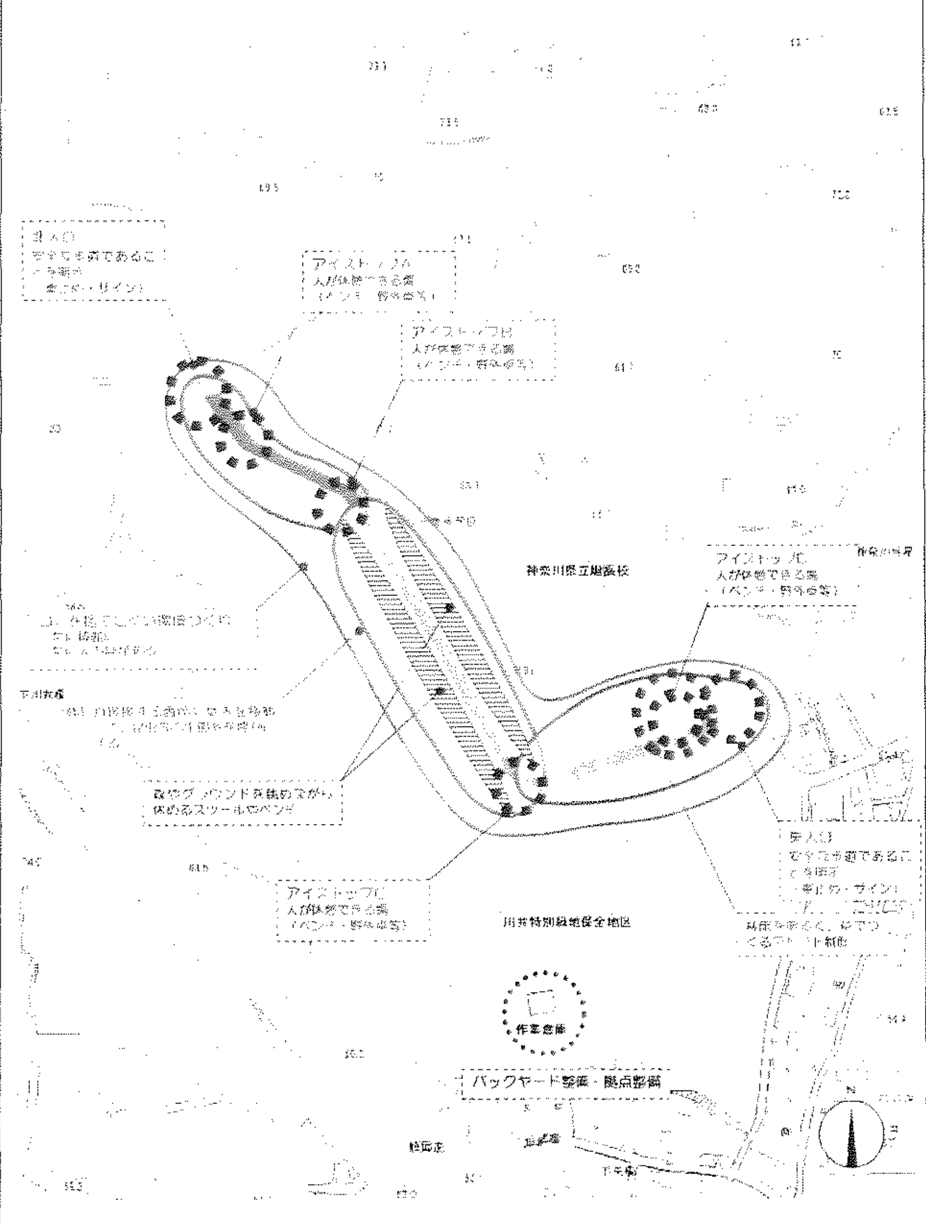
写真－5


写真－6

写真－7

写真－8

写真－9

※図中○数字は写真撮影位置を示す

第2ステージ　～きっかけづくり～